



▲保原ニットのファッションショー

装いとハイテクノロジーのまち

ニットと真綿、最先端技術が
新しい時代の産業をひらきます。

ニットへの 情熱と技術

保原はニットの町です。この地にニット産業が根を張り、およそ六〇年にわたって培われた技術と信頼の上に現代の最先端の技術を重ねて、いま新時代のニットファッションの創造を担っています。現在、首都圏での発表会を催しながら、アンテナショップを企画するなど、保原ニットの新しい可能性を追求しています。

ニット産業の小さな芽は、保原町の二人の先人・金子西三氏と野内文海氏らによって蒔かれたとされています。ニット産業は保原町を中心に急速に普及し、保原町はもちろん、県北の経済を大きく発展させました。技術と情熱が、ニットの町・保原を育てたのです。



▲5000点のニットが集まる「ニットサンクスフェア」